

結核登録者情報調査月報報告（秋田県）－令和4年（2022年）6月の概況－

■6月の概況（概数）

○新登録結核患者数は3人でした。項目別で見ると、
総合患者分類別では、喀痰塗抹陽性肺結核患者数が1人、肺外結核患者数が2人でした。
年齢別では、0～59歳が1人、70～79歳が2人でした。
保健所管内別では、秋田市保健所管内で1人、由利本荘保健所管内で1人、横手保健所管内で1人でした。

○潜在性結核感染症は0人でした。

■長引く「せき」は赤信号！ 結核に対する一人ひとりの理解が大切です。

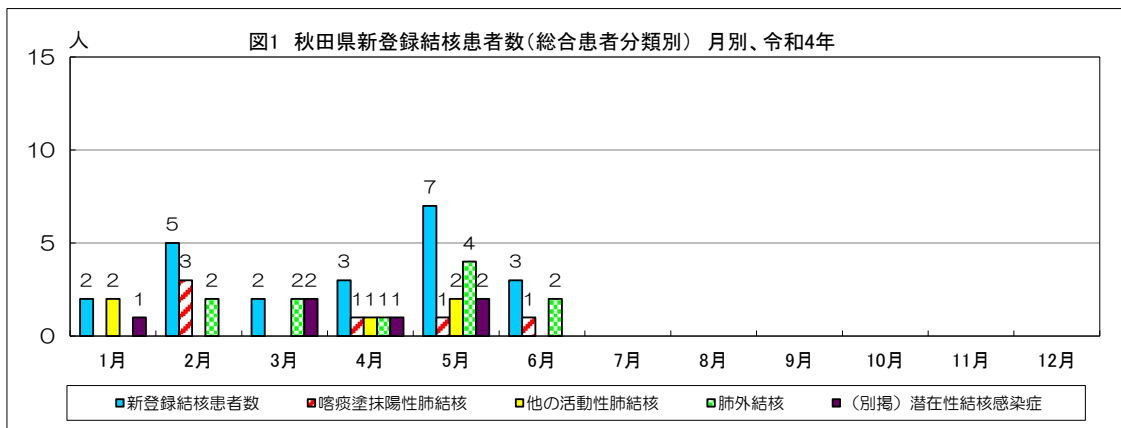
○結核の発生状況については、県民の皆さんの注意喚起のために、週報及び月報の情報を提供しています。
○健康に留意し、毎年、定期健康診断を受けましょう。
○2週間以上続く「せき」や「たん」等の症状がありましたら、早めに病院を受診しましょう。

1. 秋田県の新登録結核患者数＜概数＞ 月別、令和4年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
総合患者 分類別 (図1)	秋田県	2	5	2	3	7	3							22
	喀痰塗抹陽性肺結核	0	3	0	1	1	1							6
	他の活動性肺結核	2	0	0	1	2	0							5
	肺外結核	0	2	2	1	4	2							11
	(別掲) 潜在性結核感染症	(1)	(0)	(2)	(1)	(2)	(0)							(6)
年齢別	秋田県	2	5	2	3	7	3							22
	0-59歳	1	1	0	0	0	1							3
	60-69歳	0	1	1	0	0	0							2
	70-79歳	0	0	0	0	2	2							4
	80歳以上	1	3	1	3	5	0							13
	(再掲) 70歳以上 %	1 50.0	3 60.0	1 50.0	3 100.0	5 100.0	0 66.7							17 77.3

*用語の説明

新登録結核患者…………… 新たに結核と診断された患者。
 喀痰塗抹陽性肺結核…………… たんの中に結核菌が出るようになり、他者にうつすおそれのある重症化した状態の結核。
 活動性結核…………… 結核の治療を要する者。
 肺結核…………… 肺又は気管支を主に冒した結核症。
 肺外結核…………… 肺及び気管支以外の臓器を主に冒した結核症。例えば胸膜、咽頭、腸、腎臓、骨、皮膚等
 潜在性結核感染症…………… 結核菌に感染しているものの、発病しないで一時的に休眠状態にある場合。



2. 秋田県の新登録結核患者数＜概数＞ 月別、保健所別、令和4年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
保健所別	秋田市	0	4	0	0	2	1							7
	大館	0	0	1	0	2	0							3
	北秋田	0	0	0	0	0	0							0
	能代	0	0	1	0	1	0							2
	秋田中央	0	0	0	0	1	0							1
	由利本荘	1	0	0	1	0	1							3
	大仙	1	0	0	1	1	0							3
	横手	0	1	0	1	0	1							3
湯沢	0	0	0	0	0	0							0	
R4年	秋田県（概数）*	2	5	2	3	7	3							22
R3年	秋田県（概数）*	4	2	3	4	2	8	1	8	1	4	1	3	41

*月別の合計値（概数）であるため、年報の確定値とは一致しない場合があります。

- 秋田県及び全国の結核情報については、
秋田県健康環境センター、結核予防会結核研究所等のホームページをご覧ください。